

機会の提供

演習で育む主体性と学生スタッフの育成

人間科学科 谷田林士

主体性を促進する授業実践の紹介の前に

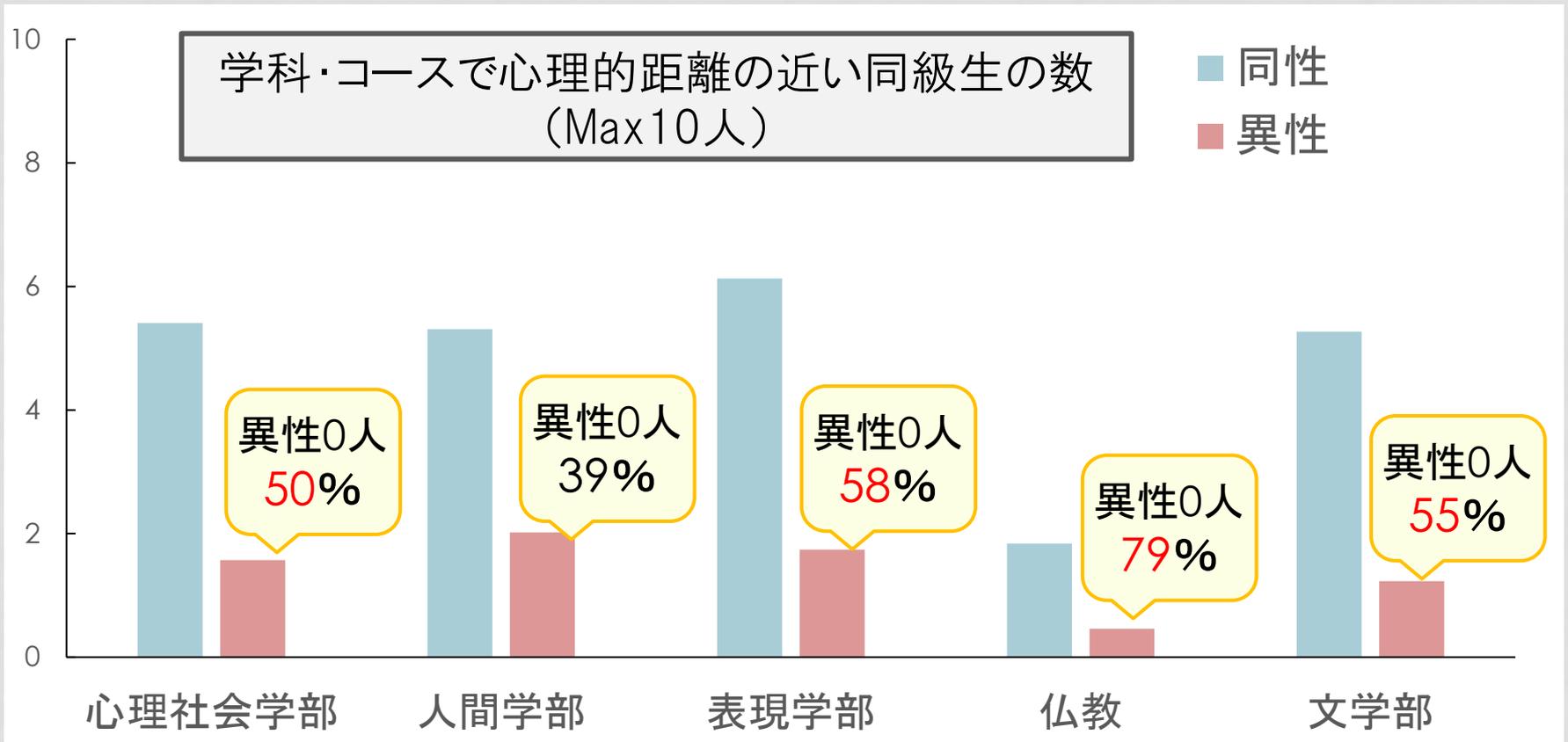
1 大学生にとっての主体性とは

- 近年の答申に見られた方法論としての主体性
 - 「講義形式(受動的)vsアクティブ・ラーニング(能動的)」
 - 「学生が主体性を持って多様な人々と協力して問題を発見し解を見いだしていく」方法
- 専門教育（II類）教員にとっての主体性＝総合的な態度
 - 演習（ゼミ）や卒業論文を通じて、DPとして掲げる形で、学生の主体的な態度を養成している
 - ✓ 講義科目や研究法科目の修得後（専門知識・学術的能力が身についた後）、自らの関心に従って発揮するもの



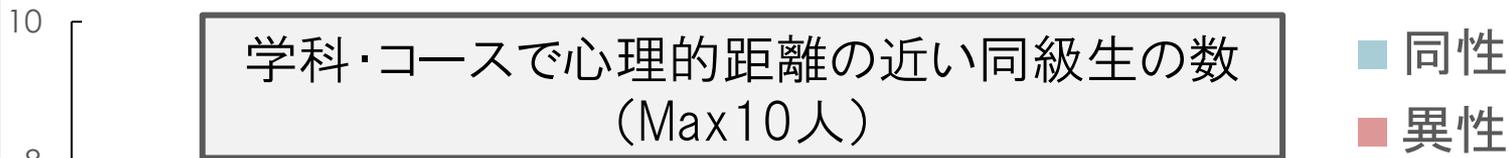
方法論としてのアクティブ・ラーニングの帰結

- 大正大1年に対する全数調査(地域創世学部除く)の結果 7月末時点



方法論としてのアクティブ・ラーニングの帰結

- 大正大1年に対する全数調査(地域創世学部除く)の結果 7月末時点



授業内では、アクティブ・ラーニングを通じて、協働作業を繰り返しているものの、それが親密な関係形成へと繋がっていないことを示唆

➔ なぜか？大学適応という観点からは、共に学びあう友人関係の形成支援が重要

機会の提供

2 私にとっての主体性とは

- 高大接続答申の主体性・多様性・協働性
 - 「学生同士が切磋琢磨し、相互に刺激を与えながら成長する場」で、学生が自分の強みや弱み、他人の強みを受け入れながら、前向きに取り組むこと

• 私の授業実践報告：機会の提供

- 主体的な学びを経験できる機会や場をどのように提供し、切磋琢磨できる環境を築き上げるための工夫は？

私の模索であって、正解な方法とは全く思っておりません
あくまでも、“選択肢”の一つに過ぎないと思っています。

2つの機会：演習と学生スタッフ



- 演習(専門演習・卒論ゼミ)
 - 切磋琢磨①: 研究発表
 - 他大学との合同心理合宿での研究発表
 - 3年演習のポスター発表
 - 卒論研究の口頭発表
 - 切磋琢磨②: 実験実施
 - 成果が学会発表や投稿論文として掲載される専門的な研究に従事
 - 環境整備: 時間とブログ



- 学生スタッフ(SA・LA)
 - 切磋琢磨①: 授業を補佐するグループワークの運営
 - 初年次学生に対して対人関係の形成を支援するグループワークの制作
 - 切磋琢磨②: 発表経験
 - 授業だけでなく、オープンキャンパス等で、学科の学びをプレゼンテーション
 - 環境整備: 縦のつながり

演習での切磋琢磨：研究発表

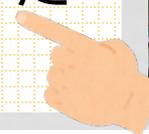


- 切磋琢磨の場①：自身の研究の成果を発表する機会
 - 合同心理合宿（長野大学と共催 今年度は9月2～4日）
 - 3年：卒論の再分析や自身が進めている研究を口頭 or ポスター発表
 - 4年：卒論研究の中間報告について口頭 or ポスター発表



● 切磋琢磨のポイント

- 口頭発表の学生に対して、過去に経験した先輩やOBが手直しを手伝ったり、発表練習を深夜まで付き合ったり…



演習での切磋琢磨：研究発表



- 切磋琢磨の場①：自身の研究の成果を発表する機会
 - 学期末における研究発表会
 - 3年：ミニ卒論をポスター発表
 - 4年：卒論研究についての口頭発表



切磋琢磨のポイント

- ゼミ生全員が、プレゼンをする機会を得ることで、自分の強みや弱み、他のゼミ生の強みが見えてくる。
- 統計分析を教えあったり、発表内容を講評しあったり…



演習の環境整備：時間①

- 時間とは

1. 指導時間や準備時間をしっかりとること

- 例：心理合宿に要した時間

- 8月（夏季休暇中）の専門ゼミ・卒論ゼミの開催

- 開催日：8月7日・21日・28日・30日 10:00－18:00
- 指導内容：ポスター制作や口頭発表のPPT作成

- 9月2日～4日 心理合宿

- 合宿運営に関わる準備
- 口頭発表の見直しや練習

合宿が終われば、
ほっと一安心



演習の環境整備②: ブログ

- 専門演習や卒論のゼミ生がブログを運営
 - 教員がサーバーをレンタルし、そこでWordPressのブログをゼミ生が運営
 - ブログの内容
 - 投稿記事: 毎週、演習で学んだ内容を担当のゼミ生が投稿する
 - 個人ページ: 本名を掲載して、何を学んでいるかということを対外的にアピールするページ
 - 心理合宿でどのようなことを経験したのかをまとめるサブページもあり

ゼミの学生が自分たちの学びを、外部を意識して公的（パブリック）にまとめる経験

➔ 演習という授業が一方的なものではなく、学生自らが主体的に作り上げていくものという認知を促進

2つの機会：専門演習と学生スタッフ



● 専門演習・卒論ゼミ

● 切磋琢磨①：研究発表

- 他大学との合同心理合宿での研究発表
- 3年演習のポスター発表
- 卒論研究の口頭発表

● 切磋琢磨②：実験実施

- 成果が学会発表や投稿論文として掲載される**専門的な研究に従事**

● 環境整備：時間とブログ



● 学生スタッフ

- 切磋琢磨①：授業を補佐するグループワークの運営
 - 初年次学生に対して対人関係の形成を支援するグループワークの制作
- 切磋琢磨②：発表経験
 - 授業だけでなく、オープンキャンパス等で、学科の学びをプレゼンテーション
- 環境整備：縦のつながり

演習での切磋琢磨②：専門的な研究従事



- 切磋琢磨の場②：専門的な研究への従事
 - 専門ゼミ生の中には、私自身の研究内容を、“同僚”という位置づけで参加し、卒業論文研究にまとめる
 - 全員ではない。自身のペースで卒論研究を執筆するゼミ生もいる
 - 毎年30～40%の学生が、専門的な実験研究に加わり、研究に従事

● 切磋琢磨のポイント

- 大学院生がいなかったため、ゼミ生同士で助け合う関係に（私も院生に近づく）
- 研究が引き継がれていくため、先輩が後輩の面倒（実験方法の伝授）をみて、後輩は先輩越えの卒論を目指し、さらなる後輩へバトンを渡す



演習での切磋琢磨②：専門的な研究従事



- どのような研究に、“同僚”として参加するか？

1 表情筋を測定した共感性向上トレーニングの開発研究

- 2012-14 科研費 若手研究(B)
 - 対人場面における共感性の働き：行動予測に関するシミュレーション理論の心理基盤
- 2015-17 科研費 挑戦的萌芽研究
 - 生理指標を用いた情動伝染過程の可視化：初年次教育における共感促進プログラムの開発

2 脳波（事象関連電位）を測定した協調性メカニズムの解明

- 2019-21 科研費 挑戦的研究(萌芽)
 - 集団主義を支える協調性の認知過程：事象関連電位の個人差と対人関係の関連性を探る

演習の環境整備：時間②

- 時間とは
 1. 指導時間や準備時間をしっかりとること
 2. 切磋琢磨しながら頑張る卒論生の時間をしっかりとること
- 卒論の実験分析や執筆をゼミ生同士で乗り切る
 - 18時になると学科で使用できる教室・実験室が閉室
 - 学生は残って研究したい。

卒論の時間を確保する本音

- 私が帰る時間までOK。自宅が徒歩10分だからいいけどね…家族の理解があるからいいけどね…

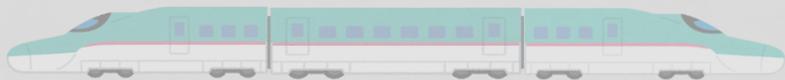


演習の環境整備：時間②

- 時間とは
 1. 指導時間や準備時間をしっかりとること
 2. 切磋琢磨しながら頑張る卒論生の時間をしっかりとること
- 卒論カウントダウン
 - 子どもが生まれ、最近
は8時半まで(お風呂
担当)
 - 数年前は閉門ギリギリ



2つの機会：専門演習と学生スタッフ



- 演習(専門演習・卒論ゼミ)
- 切磋琢磨①: 研究発表
 - 他大学との合同心理合宿での研究発表
 - 3年演習のポスター発表
 - 卒論研究の口頭発表
- 切磋琢磨②: 実験実施
 - 成果が学会発表や投稿論文として掲載される専門的な研究に従事
- 環境整備: 時間とブログ



- 学生スタッフ(SA・LA)
- 切磋琢磨①: 授業を補佐するグループワークの運営
 - 初年次学生に対して対人関係の形成を支援するグループワークの制作
- 切磋琢磨②: 発表経験
 - 授業だけでなく、オープンキャンパス等で、学科の学びをプレゼンテーション
- 環境整備: 縦のつながり

学生スタッフとして機会を提供



- 学生スタッフの組織化
 - 2011-2016: コミュニケーション・ガイダンス(CGスタッフ)
 - 2014-2019: 学びの基礎技法AのSAやLA
 - 2011-2017: オープンキャンパスの学生スタッフ
 - 2015-2019: コミュニケーションの心理学のLA
 - SA・LA: 授業補佐のスタッフ



学生スタッフの切磋琢磨：GWの運営・実施



- 切磋琢磨の場①：初年次学生の対人関係形成の支援
 - SA(スチューデント・アシスタント)：有給の在学生の授業補佐
 - LA(ラーニング・アシスタント)：無給の在学生の授業補佐
- 模範的な先輩学生として、初年次生がうまく友人関係を形成していくために有効なグループワークの開発したり、準備したりしながら、実際に授業の中で、それらのワークを担当する



学生スタッフの切磋琢磨：GWの運営・実施



- 切磋琢磨の場①：初年次学生の対人関係形成の支援
 - 入念な準備
 - 授業が開始される半年前から、毎週集まってグループワークの内容を精査したり、新たなワークの開発のために議論したり…
 - SAやLA同士の支えあい
 - 授業が始まると、前日の夜の準備だけでなく、翌日以降にSAやLAが初年次生に対して実施したグループワークの成果や反省点を話し合う
 - 数年前に初年次教育にSAを導入した時の外野の声
 - 某コーディネーター「谷田君はSAを3人も導入して、お茶くみ係ばかり入れて何やってるんだろうね」。

SAやLAが補佐する内容や目的を明確にし、その準備に時間を費やすことで、SAやLAの能力を養成(お茶くみ係じゃない！)

学生スタッフの切磋琢磨：発表経験



- 切磋琢磨の場②：公的な場での発表を経験する
 - コミュニケーションの心理学のLA
 - 授業の後半に教室を移動して、LAが1人で、30人程度の1年生に対して、対人関係を形成するためのグループワークを説明したり、実施したりする。
 - オープンキャンパスの学生スタッフ
 - 学科・コース説明の時間に、大学の学びを高校生の前で話す
 - 学びの体験や模擬授業で、高校生の前で心理学を説明する

● 切磋琢磨のポイント

- 学生スタッフが発表するパワーポイントや説明書などを何度も添削して、レベルの高い発表資料を制作できるまで指導を繰り返す
- 発表練習を何度も付き合い、原稿なしで堂々と発表できるように！
 - ✓ 学生に“丸投げ”するような形では、学生は成長できずに自信過剰になるだけ。

学生スタッフの環境整備：縦のつながり



- 学生スタッフ

- 基本的には、自薦は認めず、利他的な学生に声をかける
- 他学年構成
 - 経験を積んだ先輩スタッフが後輩のスタッフを指導



- OBOGも含めた縦と横のつながりへ：タクマ会の開催

- **OBのゼミ生と学生スタッフ** + 在学生の**ゼミ生と学生スタッフ**



まとめ TAKE-HOME MESSAGES

- 今回のテーマ：学生の主体性を促進させる授業とは
 - 私なりの回答
 - 一つ一つの授業の中での展開だけでなく、
 - 教育理念に基づいて全員の学生に押し付けるものでもなく、
 - それぞれの教員が自身の専門性から提供できる“**選択肢**”を明確に学生に提示して、
 - “**選択肢**”を選んだ学生に、時間をかけて教育すること
 - 大学生にとっての主体性
 - 自ら問題を発見し、獲得した専門的手法によって、問題解決ができる
- 演習・卒論の重要性（大多和, 2015）
 - 「**学問そして科学の府としての地道な活性化の取り組み**」

刺激を与えてくれる教員ネットワーク

● 真のFDがここにも

- それぞれの教員がパブリックに語る分、どういう教育を行い、意地になっているかが明確。負けたくないなあとか、この方法をまねて試してみようとか、いろいろ刺激を受けますので、ぜひ。

ポーランドいいなあ。クラシック夫婦で楽しんで、お洒落なカフェいいなあ

教職センターで学生をいかに教員にするかの苦悩。あと酒と電車

サービスマーケティングや盆踊りでの学生

谷田 林士

基本データを編集 | アクティビティログ

タイムライン | 基本データ | 友達 284 | 写真 | アーカイブ | その他

自己紹介

簡単な自己紹介を追加しよう。
自己紹介を追加

東京都 豊島区在住
横浜市出身

詳細を編集

投稿を作成 | 写真・動画 | ライブ動画 | ライフイベント

今なにしてる？

写真・動画 | 友達をタグ付け | 気分・アクテ...

投稿

投稿を管理 | リストビュー | グリッドビュー

谷田 林士
9月5日 16:07

ちゃんとは自分のブログに書こうと思いますが、今年度で長野大との心理合同合宿を終えようと思っていて、それを閉会式の時に言いました。稲木先生が立ち上げて、翌年から私が参加して、私が長野大から大正大学に移っても参加させてもらっていて、あれこれ10年が経ちました。

ご清聴ありがとうございました

- 本音：偉そうに語ってすみません。私も研究が進まず、教育もうまいかず、自己嫌悪に苛まれて苦しい時間ばかりですが、bachoの音楽に支えられながら頑張っています。



「萌芽」

今にみよ！って、僕は言う
もうダメだ、は心の中だけで
命と時間と夢をかけて
目指す いくつかの萌芽

「さよなら」

さよならだけが人生さ
孤独だけが最後まで友達さ
重なる一瞬の日々に
輝く一瞬の火花
共に眺め 心震わせようじゃないか